

岐阜県がん診療連携拠点病院支援協議会（議事概要）

- 1 日 時：令和4年10月17日(月) 13:30～15:00
- 2 場 所：岐阜県庁（Web開催）
- 3 出席者

団体名	役 職	委員名	備考
岐阜県医療審議会	会長	永田 知里	
岐阜県立看護大学	学長	北山 三津子	
岐阜薬科大学	学長	原 英彰	
岐阜県医師会	副会長	鳥澤 英紀	代理出席 山本 昌督
岐阜県病院協会	会長	松波 英寿	
岐阜県看護協会	会長	青木 京子	
岐阜県国民健康保険団体連合会	常務理事	西垣 功朗	
和やかサロン	代表	高木 和子	
あけぼの岐阜	代表	橋渡 智美	代理出席 安江 京子
岐阜県健康福祉部保健医療課	課長	井上 玲子	
〃健康推進室がん・受動喫煙対策係	主幹兼係長	田中 和美	
〃	主事	成瀬 萌果	

4 議事要旨

議事1 令和4年度がん診療連携拠点病院指定更新推薦の概要

事務局からがん診療連携拠点病院（以下、「拠点病院」という。）の概要、指定要件について説明。

議事2 各拠点病院の申請状況ならびに指定更新に係る事務局案

事務局から、各拠点病院の申請状況及び推薦に係る事務局案について説明し、厚生労働省への推薦の可否について審議。

申請状況：指定更新	(岐阜圏域)	岐阜大学医学部附属病院 岐阜県総合医療センター 岐阜市民病院
	(西濃圏域)	大垣市民病院
	(中濃圏域)	中部国際医療センター 中濃厚生病院
	(東濃圏域)	岐阜県立多治見病院
	(飛騨圏域)	高山赤十字病院

検討結果： 上記8病院を厚生労働省に推薦することを出席者全員賛同のもと決定。

議事3 がん診療連携拠点病院の機能に期待すること

- 人口が少ない地域や高齢化が進んでいる地域では、数字での実績評価は厳しい。
- 数字での評価も必要ではあるが、重要なのは質である。医療従事者の専門性や地域連携の内容、患者支援の手厚さ等が拠点病院として求められているところである。
- 拠点病院に専門的な知識および技能を有した人材がいることはもちろん必要であるが、薬局や訪問看護など、地域との連携先にも専門性の高い人材がいると、がん医療がより充実する。
- がん診療連携拠点病院という名前がついていることは、患者にとって病院選択の上で大きな意味がある。患者の知りたい情報をわかりやすく、丁寧に提供してもらえる体制があることが患者にとって大切なことである。